

令和3年度（2021年度）事業実施計画における個体群管理（捕獲方法別捕獲数）の考え方（案）

- 「令和2年度事業実施計画」における個体群管理にかかるゼニガタアザラシの捕獲については、計84頭であり計画目安の86頭を下回ったことから、令和3年度実施計画においては当初予定の50頭に、積み残し分の2頭を加えた52頭を捕獲する予定。
- 令和3年度捕獲手法別捕獲数の設定に当たっては、これまでの捕獲状況から「春に実施する刺し網での捕獲は幼獣割合が高い」「定置網に執着する大型個体の捕獲が見込める定置網での捕獲は、アザラシの行動に左右され想定が難しい」状況があることから、捕獲方法別捕獲数について以下の案から検討する。

（案1）令和2年度（2020年度）実績を踏まえた捕獲頭数

- ・令和2年度（2020年度）捕獲数84頭のうち定置網での捕獲が44頭であり、令和3年度（2021年度）の捕獲頭数52頭に近い頭数である。定置網捕獲では定置に執着する大型個体の捕獲が見込めることにより漁業被害軽減も期待できるため、捕獲数は定置網捕獲で52頭を捕獲することを目安とする。

（案2）令和2年度（2020年度）実績を踏まえた捕獲頭数

- ・令和2年度（2020年度）捕獲数84頭のうち定置網での捕獲が44頭（過去最高値）であり、令和3年度（2021年度）も同程度であることを前提とし、捕獲数は定置網捕獲で44頭、残り8頭を刺し網で捕獲することを目安とする。

（案3）令和2年度（2020年度）までの実績を踏まえた捕獲頭数

- ・平成28年度～令和2年度までの春・秋定置網捕獲での年間の捕獲数の平均が約26頭であることを踏まえ、令和3年度（2021年度）は平均値程度の捕獲数であることを前提とし、捕獲数は定置網捕獲で26頭、残り26頭を刺し網で捕獲することを目安とする。

表1：定置網での年度別捕獲頭数

年度	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	計
捕獲頭数	16	34	14	23	44	131

なお、捕獲個体の年齢構成の偏りによる個体群管理の影響については、2年後の中間取りまとめの時点でシミュレーションに反映し、対応を検討する。

※定置網捕獲において、目安とする捕獲頭数を超えて捕獲が見込める場合の対応

定置網捕獲では漁業被害を引き起こす成獣個体を捕獲できることから、漁業被害軽減に繋がる。そのため、以下についても提案したい。

- ・定置網捕獲において目安とする頭数よりも捕獲数が上回る場合は、捕獲頭数目安の全体の2割を上限として、捕獲を継続する。